
第2章

広島市における地域の状況

第2章 広島市における地域の状況

第8次計画を策定した平成30年度以降も広島市における地域の状況は変化しています。広島市の人口は、平成27年国勢調査時には約119万人、令和2年国勢調査時には約120万人とほぼ横ばいで推移していますが、今後は緩やかに人口減少に向かうことが見込まれています。

少子高齢化が進み、出生数は、平成30年には9,999人、令和4年には8,306人と減少しています。

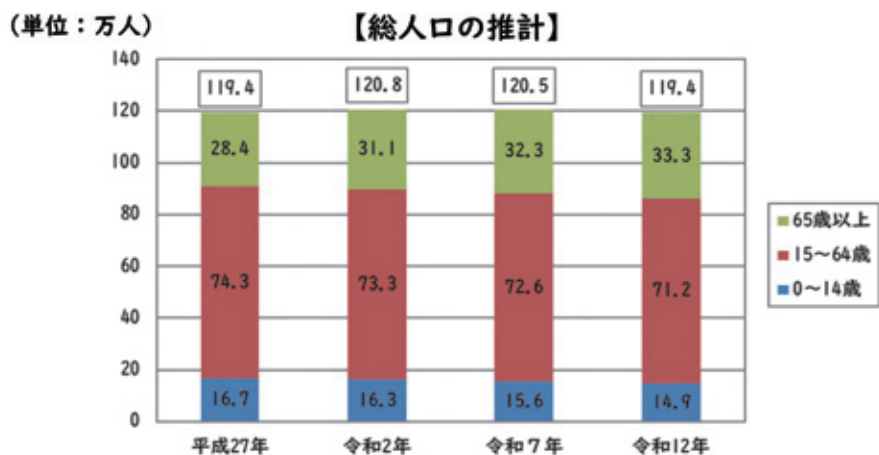
高齢化率は、令和5年時点では26.2%ですが、令和32年には35.3%になると見込まれています。認知症高齢者数は令和5年時点では、37,496人ですが、令和32年には56,300人まで増加することが見込まれています。こうした状況の中、国においては、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和6年1月から「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。

また、地域コミュニティを支える町内会・自治会への加入率は、平成30年度には58.4%、令和4年度には54.1%と減少傾向にあります。このように私たちを取り巻く環境が大きく変化していく一方で、地域生活課題は複合化・多様化、深刻化しつつあります。このような地域社会の状況があることを踏まえ、第3章以降では市・区社協の具体的な取組等を定め、計画を推進していくこととしています。

1 人口・世帯数の推移

総人口は、平成27年（2015年）に119.4万人、令和12年（2030年）においても119.4万人となることが予測され、ほぼ横ばいで推移する見通しです。

総人口を年齢3区分別にし、平成27年と令和12年を比べると、0～14歳は16.7万人から14.9万人に減少、15～64歳は74.3万人から71.2万人に減少、65歳以上は28.4万人から33.3万人に増加する見通しです。



資料：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来人口推計

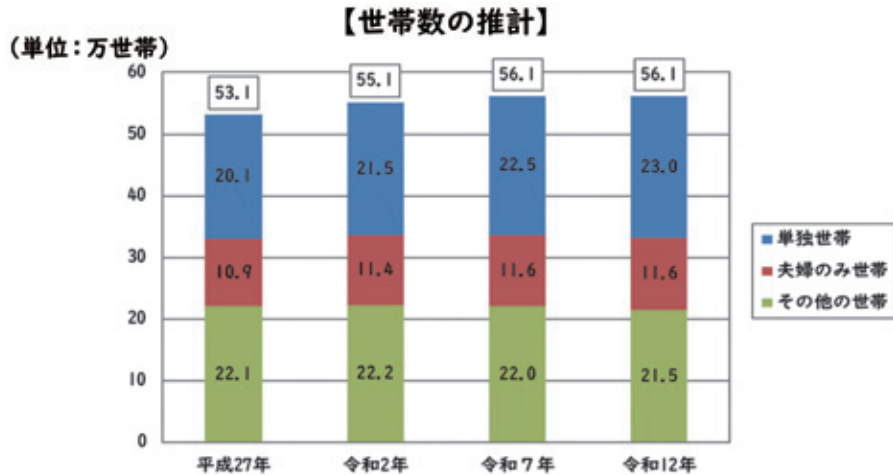
※平成27年は、国勢調査の結果による

※表示の単位未満は、四捨五入をしているため、総数と内訳の計が一致しないことがある

出典：第2期広島市子ども・子育て支援事業計画

世帯数は、平成 27 年（2015 年）の 53.1 万人から、令和 12 年（2030 年）には 56.1 万世帯に増加する見通しです。

世帯数を世帯 3 区分別にし、平成 27 年と令和 12 年を比べると、単独世帯は 20.1 万世帯から 23.0 万世帯に増加、夫婦のみ世帯は 10.9 万世帯から 11.6 万世帯に増加、その他の世帯は 22.1 万世帯から 21.5 万世帯に減少する見通しです。



資料：広島市による推計

※平成 27 年は、国勢調査の結果による

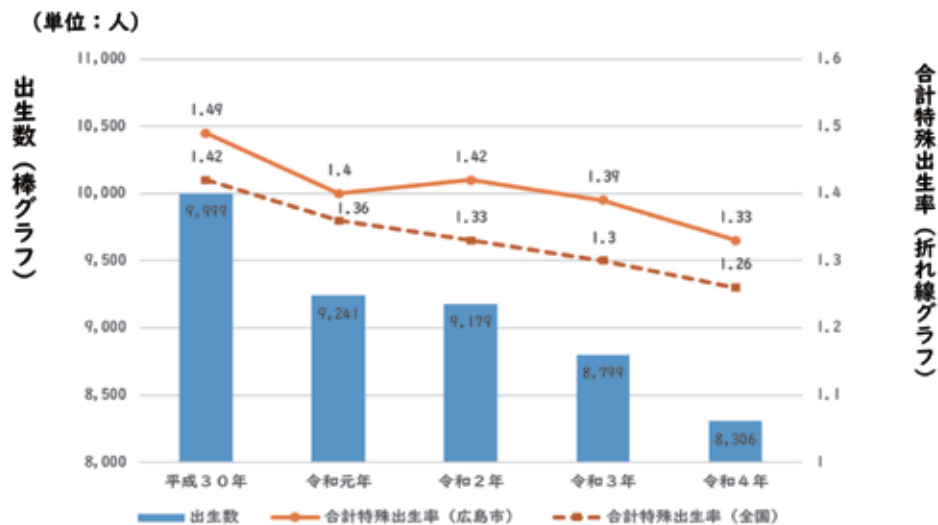
※表示の単位未満は、四捨五入をしているため、総数と内訳の計が一致しないことがある

出典：第 2 期広島市子ども・子育て支援事業計画

2 合計特殊出生率・出生数の推移

合計特殊出生率は、平成 30 年（2018 年）には 1.49%、令和 4 年（2022 年）には 1.33%と減少していますが、全国平均より高く推移しています。

出生数については、平成 30 年には 9,999 人、令和 4 年は 8,306 人と減少しています。

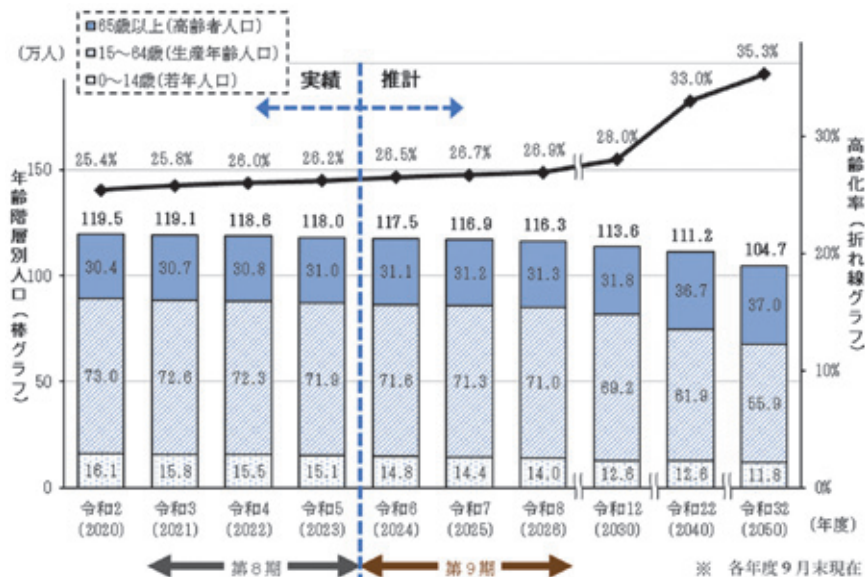


資料：厚生労働省人口動態統計

資料提供：広島市こども未来局

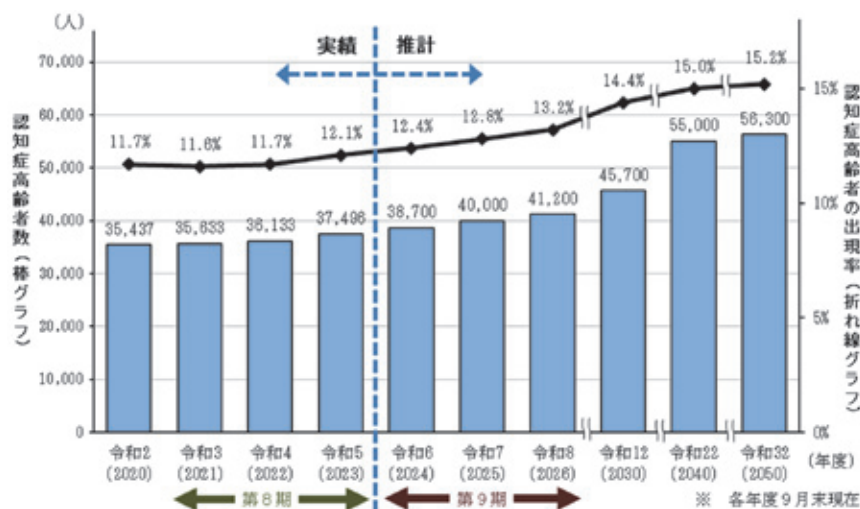
3 高齢者人口・高齢化率の推移

高齢者人口は、令和5年（2023年）の31.0万人から、令和32年（2050年）には約1.2倍の37万人まで増加する見通しです。高齢化率は、令和5年の26.2%から、令和32年には約1.3倍の35.3%まで増加する見通しです。



4 認知症高齢者数・認知症高齢者の出現率の推移

認知症高齢者数は、令和5年（2023年）の37,496人から、令和32年（2050年）には約1.5倍の56,300人まで増加する見通しです。認知症高齢者の出現率は、令和5年の12.1%から、令和32年には約1.3倍の15.2%まで増加する見通しです。

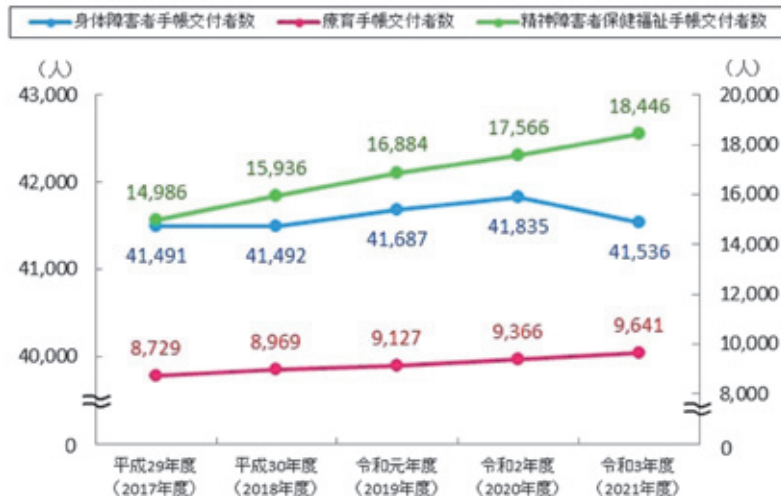


※要支援・要介護認定者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ a以上のもの

出典：第9期広島市高齢者施策推進プラン

5 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移

身体障害者手帳交付者数は、平成 29 年度（2017 年度）の 41,491 人から、令和 3 年度（2021 年度）には 41,536 人まで増加しています。療育手帳交付者数は、平成 29 年度の 8,729 人から、令和 3 年度には 9,641 人まで増加しています。精神障害者保健福祉手帳交付者数は、平成 29 年度の 14,986 人から、令和 3 年度には 18,446 人まで増加しています。



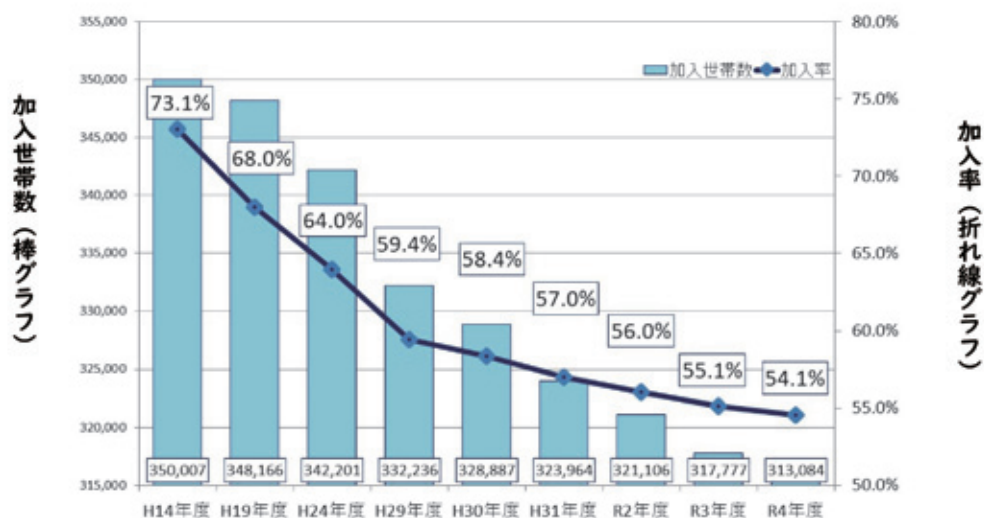
出典：広島市ホームページ

6 町内会・自治会の加入世帯数・加入率の推移

●市域全体

町内会加入世帯数は、平成 14 年度（2002 年度）の 350,007 世帯から、令和 4 年度（2022 年度）には 313,084 世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成 14 年度の 73.1%から、令和 4 年度には 54.1%まで減少しています。

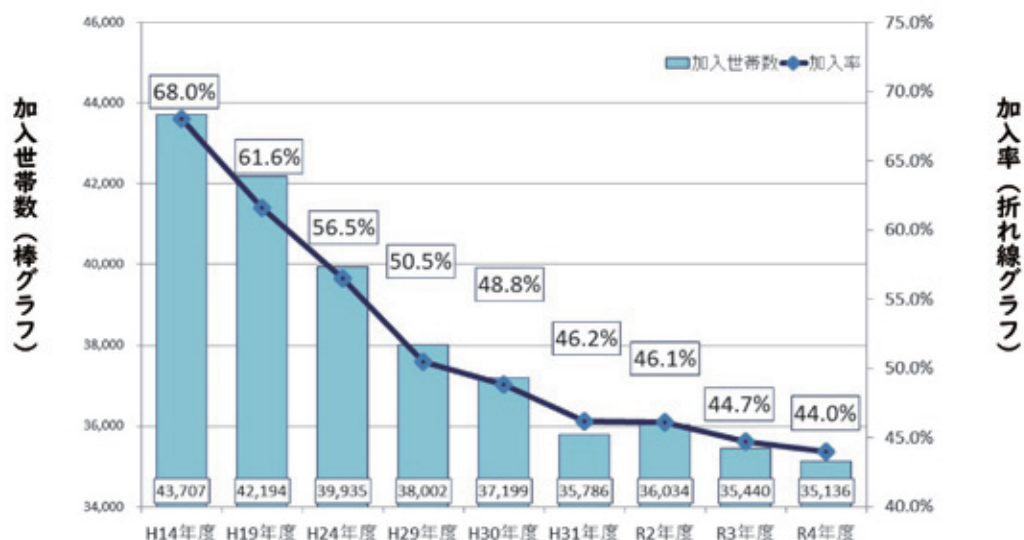


資料提供：広島市市民局

●中区

町内会加入世帯数は、平成 14 年度（2002 年度）の 43,707 世帯から、令和 4 年度（2022 年度）には 35,136 世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成 14 年度の 68.0%から、令和 4 年度には 44.0%まで減少しています。

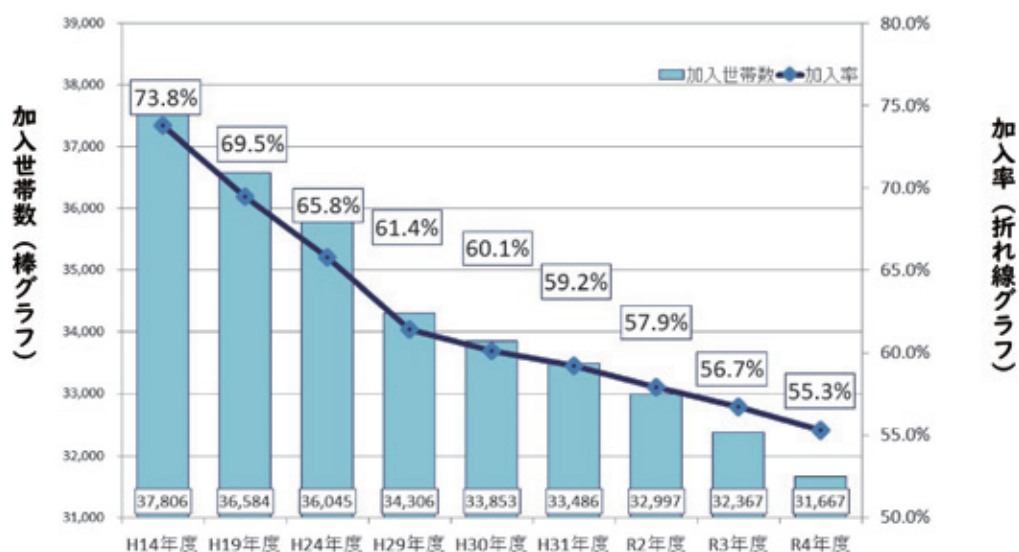


資料提供：広島市市民局

●東区

町内会加入世帯数は、平成 14 年度（2002 年度）の 37,806 世帯から、令和 4 年度（2022 年度）には 31,667 世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成 14 年度の 73.8%から、令和 4 年度には 55.3%まで減少しています。

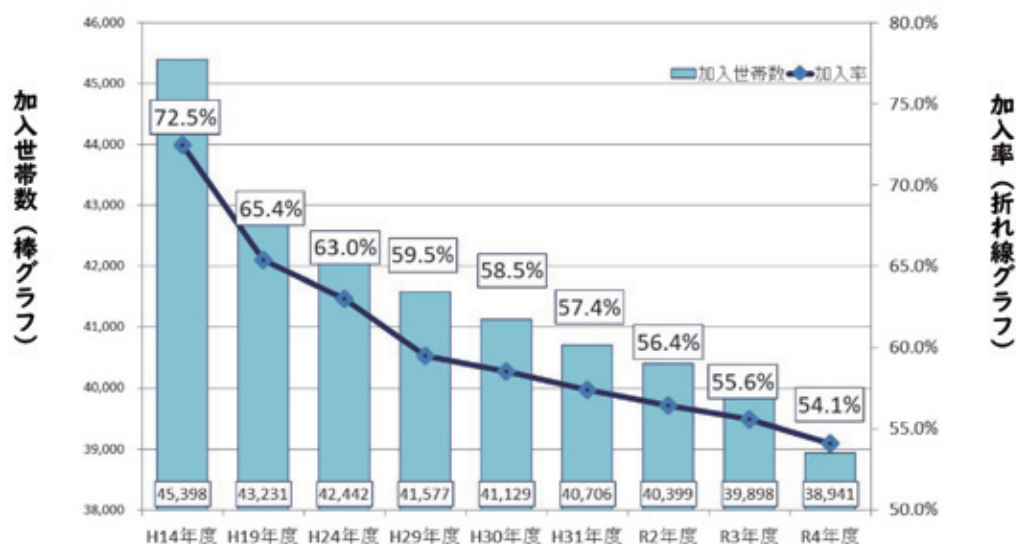


資料提供：広島市市民局

●南区

町内会加入世帯数は、平成14年度（2002年度）の45,398世帯から、令和4年度（2022年度）には38,941世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成14年度の72.5%から、令和4年度には54.1%まで減少しています。

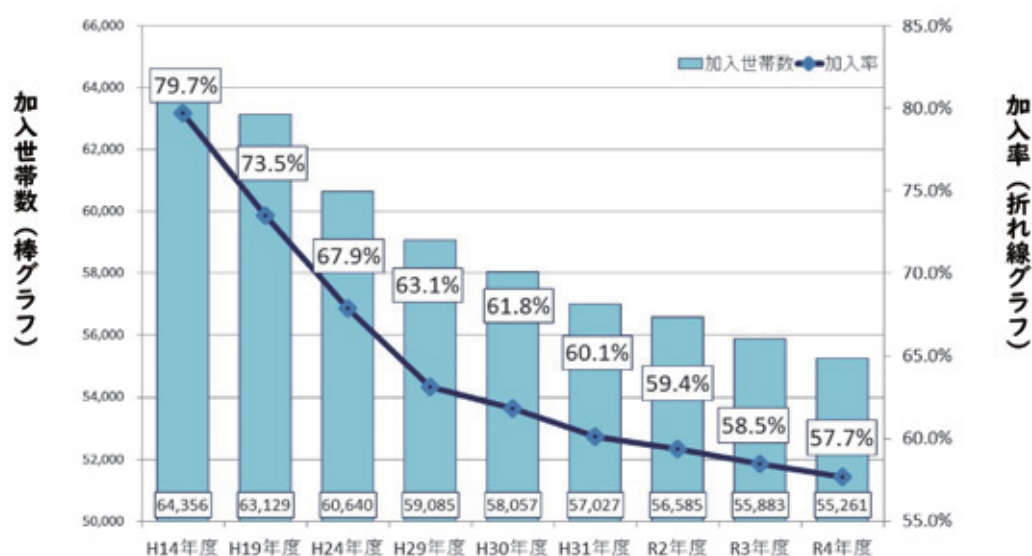


資料提供：広島市市民局

●西区

町内会加入世帯数は、平成14年度（2002年度）の64,356世帯から、令和4年度（2022年度）には55,261世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成14年度の79.7%から、令和4年度には57.7%まで減少しています。

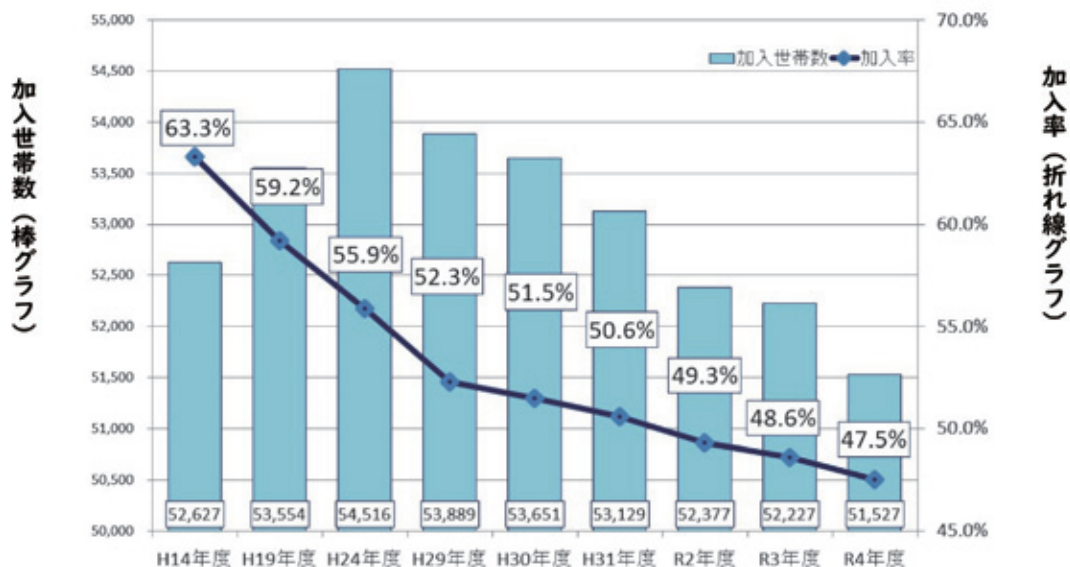


資料提供：広島市市民局

●安佐南区

町内会加入世帯数は、平成 14 年度（2002 年度）の 52,627 世帯から、令和 4 年度（2022 年度）には 51,527 世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成 14 年度の 63.3%から、令和 4 年度には 47.5%まで減少しています。

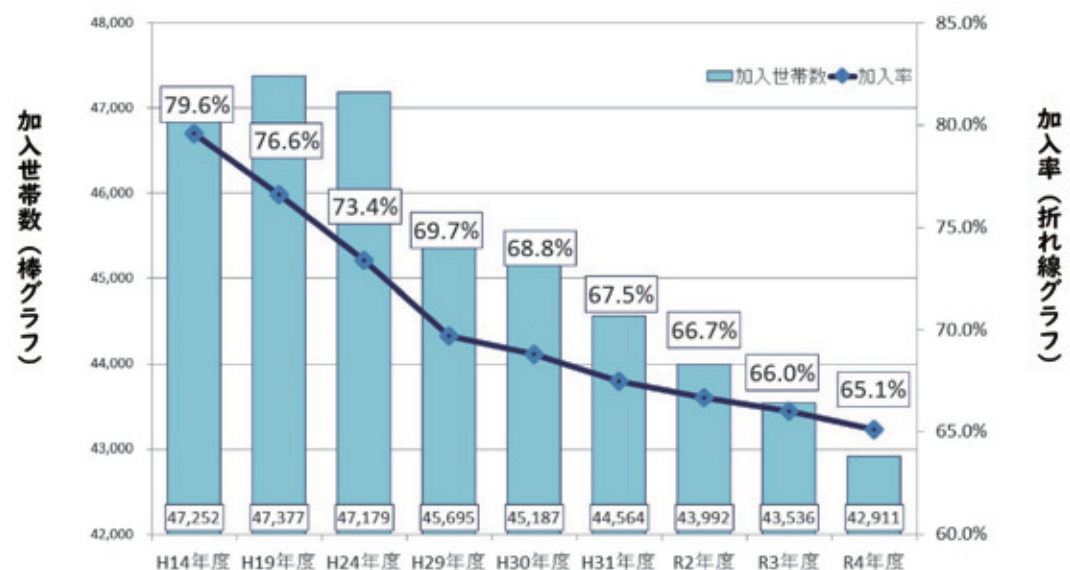


資料提供：広島市市民局

●安佐北区

町内会加入世帯数は、平成 14 年度（2002 年度）の 47,252 世帯から、令和 4 年度（2022 年度）には 42,911 世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成 14 年度の 79.6%から、令和 4 年度には 65.1%まで減少しています。

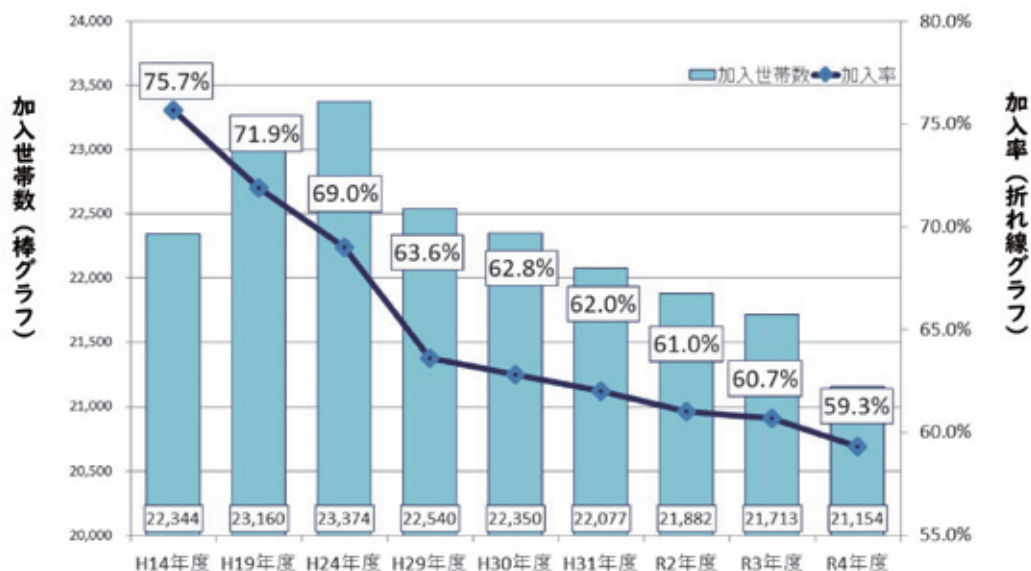


資料提供：広島市市民局

●安芸区

町内会加入世帯数は、平成 14 年度（2002 年度）の 22,344 世帯から、令和 4 年度（2022 年度）には 21,154 世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成 14 年度の 75.7%から、令和 4 年度には 59.3%まで減少しています。

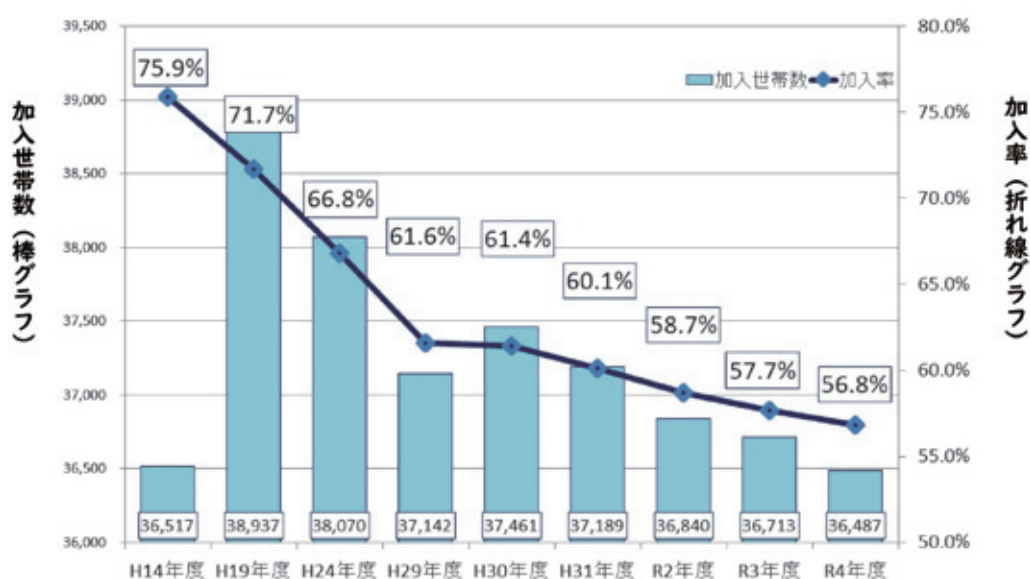


資料提供：広島市市民局

●佐伯区

町内会加入世帯数は、平成 14 年度（2002 年度）の 36,517 世帯から、令和 4 年度（2022 年度）には 36,487 世帯まで減少しています。

町内会加入率は、平成 14 年度の 75.9%から、令和 4 年度には 56.8%まで減少しています。



資料提供：広島市市民局